

ICF 記録シート

書く順番 1 d を先に決める 2 b/s を原因で書く 3 e+ / e- を分ける 4 個人因子を 1 行 5 次回指標を決める

基本情報

患者 ID	評価日
記録者	場所

最初に決めること

今日の目標 d	何を良くしたいか 1 つに絞る ex) d450 屋内 20 m 歩行
評価場面	どこで見た結果かを書く ex) 病棟 / 訓練室 / 自宅想定
補助具・介助	現実条件を書く ex) 四点杖 / 見守り / 接触介助
生活背景	個人因子を 1 行で ex) 独居 / 買い物継続希望 / 役割
次回指標	何で比べるかを定める ex) 距離 / 介助量 / 歩行速度 / NRS

ICF 記入欄

確認 P / Cap を分ける e+ / e- を分ける 個人因子を 1 行書く

領域	コード	何を書くか / 所見	修飾子	目標 / 比較点
活動・参加	d450 など	何を良くしたいか ex) 屋内歩行 / 更衣 / 買い物	P / Cap	目標と再評価
心身機能	b730 など	d を妨げる機能 ex) 筋力 / 疼痛 / バランス	0 - 4	今回の主因
身体構造	s750 など	構造の問題 ex) 下肢 / 体幹 / 関節 / 変形	0 - 4	影響部位
環境因子 +	e115 など	助けになる条件 ex) 杖 / 手すり / 家族支援	+ 1 - 4	何が効くか
環境因子 -	e150 など	妨げる条件 ex) 段差 / 狭さ / 疲労 / 動線	- 1 - 4	何が障害か
個人因子	-	生活背景 ex) 独居 / 役割 / 希望 / 不安	-	説明の要点

まとめ / 次回

今日の結論 (1 文) ex) d450 屋内 20 m / P = 3、Cap = 2 / 杖で見守り	次回の条件固定 / 再評価 ex) 病棟同条件で距離・介助量・歩行速度を再確認
--	---